

令和5年度事業報告

I 設立目的

本公社は、環境と共生する快適なまちの形成に資するため、環境とまちづくりに関する事業を推進し、都市機能の維持・増進、環境への負荷の低減、公衆衛生の向上および環境の保全に努め、もって練馬区の健全な発展と、住民の福祉の向上に寄与することを目的とする。

II 沿革

【団体沿革】

昭和62年 財団法人練馬区都市整備公社設立
平成24年 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社に移行

【事業沿革】

<土地区画整理事業>

平成4年～平成16年
土地区画整理事業事務局受託3地区（三原台三丁目、中里、三原台二丁目）

<市街地再開発事業>

平成5年～平成15年
市街地再開発事業事務局受託2地区（練馬春日町駅西地区、石神井公園駅北口地区）

<市街地整備事業>

平成22年～平成27年
貫井・富士見台地区、高松・向山地区まちづくり推進事業受託（完了）

<自転車事業>

平成元年 ねりまタウンサイクル事業業務受託
平成4年 区立有料自転車駐車場管理運営業務受託
平成17年 自転車集積所管理業務受託
平成18年 指定管理者制度によるねりまタウンサイクル・区立有料自転車駐車場の管理運営業務受託
放置自転車対策業務受託（撤去・保管・返還、問い合わせ対応等）
平成23年 公社立自転車駐車場開設
平成29年 自転車駐車場利用者サービス事業開始（収益事業）

<まちづくり・普及啓発事業>

平成18年 練馬まちづくりセンター開設（平成28年みどりのまちづくりセンターに改称）
平成23年 景観整備機構指定、練馬区景観形成支援事業受託
平成28年 みどり事業受託
平成29年 空家地域貢献事業受託
令和2年 防災まちづくり事業受託

<資源循環推進事業>

平成22年 練馬区資源循環センター管理運営業務受託
資源回収事業受託（収益事業）
平成27年 可燃ごみ・不燃ごみ収集業務受託
令和2年 蛍光管資源化事業受託
令和4年 不燃ごみ資源化事業受託

<温暖化対策事業>

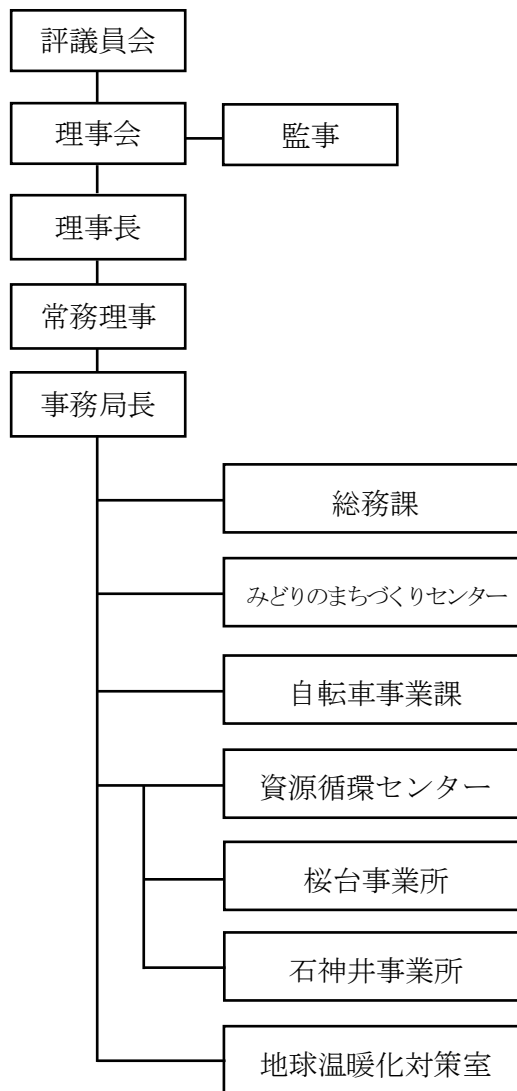
平成22年 練馬区地球温暖化対策地域協議会事務局業務受託

Ⅲ 基本財産

2億円（全額練馬区からの出資金）

Ⅳ 組織・社員数

（令和6年3月31日現在）



評議員 7名

役員 16名（理事長1名、常務理事2名、常勤理事1名、非常勤理事10名、
監事2名）

社員数 365名

V 事業目的

本社は、練馬区の行政を補完して、環境と共生する快適なまちを実現するため、環境とまちづくりに関する事業を推進し、都市機能の維持・増進、環境への負荷の低減、公衆衛生の向上および環境の保全に努め、住民福祉の向上に貢献していく。

これらの目的を達成するために、

- (1) 都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための調査研究およびその成果の普及
- (2) 都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための普及啓発
- (3) 都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための相談、助言および援助
- (4) 練馬区まちづくり条例に基づくまちづくりに必要な支援
- (5) 区と協働して取り組む、まちづくりの企画、立案および推進に関する事業
- (6) 自転車等の適正利用に関する事業
- (7) 資源循環の推進に関する事業
- (8) 可燃ごみ・不燃ごみの収集に関する事業
- (9) 地球温暖化の防止対策に関する事業
- (10) その他会社の目的を達成するために必要な事業

を実施している。

令和5年度における各事業の実施状況について、以下にその概要を報告する。

VI 事業報告

1 みどりのまちづくりセンター事業 [定款第4条第1項第1～3号]

(1) みどり・景観事業の推進

① 憩いの森等の区民管理活動の支援

憩いの森等を保全・活用する区民団体の拡充に向けて、管理活動を希望する団体の相談等に対応するとともに、11か所の憩いの森等で管理団体の活動を支援した。

<管理活動を希望する団体支援>

「竹の子憩いの森」「きたっばら憩いの森」「高松しいのき憩いの森」の管理活動を希望する団体の相談等に対応し、区との管理運営委託契約につなげた。

<活動支援>

定例活動やイベント時の立ち会い、相談対応、専門家派遣などを実施した。「憩いの森の区民管理活動団体交流会」「安全講習会」を初めて開催し、団体同士の交流や安全管理の周知を図った。

1) 竹の子憩いの森（西大泉 1-22 〈令和5年10月〜〉）

【管理団体】特定非営利活動法人トントウハウス

- ・定例活動立ち会い

2) きたっばら憩いの森（谷原 3-9 〈令和5年10月〜〉）

【管理団体】明治大学校友会 練馬区地域支部

- ・定例活動立ち会い

3) 高松しいのき憩いの森（高松 1-35 〈令和5年6月〜〉）

【管理団体】NPO 法人障がい児・者の学びを保障する会 3B!!!s

- ・定例活動立ち会い
- ・専門家派遣（5/31 植生調査〈春〉、10/23 植生調査〈秋〉）

4) 石庭の森緑地（東大泉 7-50 〈令和5年4月〜〉）

※ 区民団体による管理活動は以前から行われていた。団体の意向を受け、令和5年4月から活動支援を開始した。

【管理団体】石庭みどり会

- ・イベント立ち会い（7/1 七夕まつり、12/2 落ち葉まつり）

5) 和田前憩いの森（下石神井 3-25 〈令和4年11月〜〉）

【管理団体】練馬植樹推進会

- ・専門家派遣（5/25 植生調査〈春〉、10/26 植生調査〈秋〉）

- 6) 千坪憩いの森（東大泉 5-11 〈令和4年11月〜〉）
【管理団体】隠れ家つながり隊
- ・イベント立ち会い（10/22 千坪憩いの森 活かし方を考える集い）
 - ・専門家派遣（5/31 植生調査〈春〉、10/23 植生調査〈秋〉）
- 7) 中ノ宮竹林憩いの森（春日町 6-13 〈令和4年4月〜〉）
【管理団体】クモリン緑化花の会
- ・専門家派遣（10/18 樹木剪定講習会、3/14 竹の剪定講習会）
- 8) 西本村憩いの森（大泉学園町 2-23 〈令和3年4月〜〉）
【管理団体】西本村憩いの森ファンクラブ
- ・イベント立ち会い（6/25 大泉ファーマーズマーケット〈地域連携〉）
 - ・専門家派遣（7/22 生き物観察会）
- 9) 大関山の森緑地（関町北 4-33 〈令和3年4月〜〉）
【管理団体】大関山森もりクラブ
- ・イベント立ち会い（4/19 春の植物観察会、11/3 秋のフェア）
 - ・専門家派遣（11/3 秋のフェア〈ガイドウォーク〉）
- 10) 南高松憩いの森（高松 2-14 〈令和2年4月〜〉）
【管理団体】南高松憩いの森ファンクラブ
- ・活動通信「森もりファンクラブ通信」の区立施設への配布協力
- 11) うめのき憩いの森（北町 5-3 〈令和2年4月〜〉）
【管理団体】北西うめのき会
- ・イベント立ち会い（5/27 ウメの実収穫祭）

○憩いの森の区民管理活動団体交流会の開催

憩いの森等を管理している団体同士が交流し、他の団体の活動を知ることで管理技術の向上につなげることを目的に、「憩いの森の区民管理活動団体交流会」を開催した。

開催日：令和5年10月1日（日）

開催場所：西本村憩いの森

参加団体：6団体14名

○安全講習会の開催

憩いの森等での管理活動における安全管理を学ぶことを目的に、「第1回安全講習会」を開催した。

開催日：令和6年2月18日（日）

開催場所：練馬区役所アトリウム地下多目的会議室

参加団体：8団体 33名

② 地域ぐるみのみどり保全活動の普及

保護樹林等を維持管理している所有者の負担を軽減し、民有地のみどりを地域で守り育てるため、区民と落ち葉清掃活動を実施した。区民の主体的な活動につなげていくため、清掃活動を補助する運営サポーター制度を試行した。

実施期間：11月14日～12月17日

実施場所：中村・関町北・立野町の民有保護樹林、谷原・豊玉中・大泉学園町の保護樹木

参加者：延べ279名（ボランティア185名、団体・町会94名）

活動地域	活動日	活動回数	参加者
①中村3丁目	11/26、12/5、12/12、12/17	4回	56名
②関町北3丁目	11/29、12/6、12/10、12/17	4回	78名
③立野町	11/23、12/1、12/8、12/16	4回	60名
④谷原1丁目	11/15、11/22、11/29、12/6	4回	37名
⑤豊玉中1丁目	11/28、12/3、12/8 ※12/15雨天中止	3回	13名
⑥大泉学園町4丁目	11/14、11/24、12/2、12/9	4回	35名
計		23回	279名

回収落ち葉量：29,7500（450ゴミ袋換算約661袋分）

※回収した落ち葉は堆肥づくりに活用

運営サポーター：立野町の落ち葉清掃活動で試行（延べ6名）

③ つながるカレッジねりま「みどり分野」の運営

花壇管理を担う人材育成を目的とした「コミュニティ・ガーデナーコース」3期目の講座運営を行った。修了後の活動に向けての相談、マッチングを行った。民間企業への講師委託からセンター講師による自主運営に移行し、受講生から高い評価を得た。

憩いの森等を守り育てるための管理技術や安全管理を学ぶ「ねりまの森維持管理コース」2期目の講座を運営した。

項目	内容
コミュニティ・ガーデナーコース	講座運営（受講生24名中22名が修了） 24名中11名が新規花壇（6か所）立ち上げ、13名が既存の区民協働花壇団体に新規加入（新規立ち上げ・新規加入重複者3名）、1名が所属団体での活動を継続 令和6年度に向けての講座資料等の準備

ねりまの森維持管理コース	講座運営（樹木専攻 15 名、草地専攻 15 名〈重複受講者 6 名〉全員修了） 24 名中 1 名が憩いの森区民管理団体に新規加入、17 名が所属の憩いの森区民管理団体での活動を継続 令和 6 年度に向けての講座資料等の準備
--------------	---

④ みどりを守り育てる人材の登録・紹介

みどり活動に関心のある区民をボランティアとして登録し、活動団体に紹介する「練馬みどりの人材バンク」を運用した。

登録状況：個人ボランティア 222 名、登録団体 30 団体

ボランティアと団体のマッチング：70 件

情報発信：メールマガジン発行（月 1 回、臨時号含め 17 回発行）

⑤ 景観形成支援

地域景観資源を活かした景観まちづくり（高松地区）の試行に取り組み、地域景観資源の登録と活用に向けた新たな仕組みの検討を進めている。また、景観協定のパンフレットを作成した。

区ホームページ「ねりま景観まちづくり」を運用し、情報を発信した。

項目	内容
景観まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・景観資源を活かしたまちづくりを区民と考えていくため、「たかまつの好きな景観・気になる景観」を撮り歩く、景観まち歩きイベントを開催 開催日：令和 5 年 11 月 18 日（土） 参加者：20 名
啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・景観協定パンフレット作成 ・区ホームページ「ねりま景観まちづくり」の運用・保守、情報発信

（2）まちづくり事業の推進

① まちづくり啓発

1) まちづくり講座の開催

「私が暮らす練馬の楽しみ方」「私の寄り所をまちと育む」をテーマに、パネリストそれぞれの活動を通して空間が活用されるまでのプロセス、課題、解決法、今後の展望などについて語り合う座談会を開催した。

開催日・場所	内 容	参加者
12月9日(土) 練馬区立区民・産業 プラザ研修室1	講座名:まちづくり座談会「私の“寄り所”を まちと育む」 パネリスト: ①小美濃邦弘氏(小美濃園 農主) ②小泉正彦氏(OUT PUT GALLERY 店主) ③根岸拓哉氏(こたけひろば代表・こたけ あそび代表) ④村田洋子氏(隠れ家つながり隊代表・ glamconnect+代表) 開催方法:会場参加およびオンライン配信	会場参加者 38名 オンライン 視聴者 16名

2) まちづくり活動助成事業

区民主体のまちづくり活動を支援し、活性化することを目的に、活動団体に助成を行った。「みどり・はばたき部門」は、活動報告・審査会を開催し、8団体の助成を決定した。「たまご部門」は、書類審査により6団体の助成を決定した。

団体の活動現場での立ち会い、相談対応、スキルアップのための研修会の実施など、きめ細かい支援を行った。

[みどり・はばたき部門]

身近な生活空間や都市環境の保全・改善・創造につながり、成果が地域へ還元されることが期待できるまちづくり活動に対する助成 (単位:円)

	団体名/活動提案名	助成金額
1	学園ひろばプロジェクトチーム /私たちの学園ひろばを作り上げよう!	87,000
2	まちとみどりの実験室 /石神井台3丁目集合住宅緑化プロジェクト	210,000
3	としまえん水と緑の公園で遊ぶ会 /水と緑の遊びのアクティビティを通じて多世代を紡ぐ	210,000
4	川と水辺を楽しむプロジェクト /実践的 大人の自然体験塾	150,000
5	glamconnect+ /クリーニングデイでボタニックアクション運動を広める	270,000
6	花と緑の会有志 /団地のみどりの再生	235,000
7	けやきのいえ 妙 TAE /大きな樺の木が立つ南大泉のいえと庭を遊びつくそう!	270,000
8	CONNECT 実行委員会 「CONNECT」×「光連協」 /夏の雲公園でテレワーク&地域のレジリエンス力強化	270,000
	計	1,702,000

[たまご部門]

身近な生活空間の保全・改善・創造のためのまちづくりを始めるにあたっての活動に対する助成 (単位：円)

	団体名／活動提案名	助成金額
1	南大泉手作りガーデン ／地域と育む南大泉ナチュラルガーデン	100,000
2	ちやい旅～オープンガーデン・プロジェクト ／「家と庭」、「人と緑」を通して大泉学園町界隈の魅力を発信し、その魅力を守り広げる	100,000
3	ガーデンプロジェクト Time ／地球にやさしいナチュラルなコミュニティーガーデン	100,000
4	江古田 eco コスプロジェクト ／～コスプレでごみ拾い～ 環境問題と地域コミュニティづくり	96,823
5	やくも公園をもっと楽しくし隊！ ／地域の声で、やくも公園をつくろう！楽しくしよう！	100,000
6	OTOKAMI PRODUCERS (オカミプロデューサーズ) ／紙のスピーカーで人をつなぐ文化を生み出す	100,000
計		596,823

3) まちづくり情報誌の発行

区民のまちづくりへの関心を高めるため、地域やみどりをテーマにまちづくり情報誌「こもれび」を発行した。

規 格：タブロイド判カラー4ページ

発行回数：年3回（6月・10月・2月）

配置場所：区内公共施設、各駅広報スタンド、郵便局、特集地区内新聞折込等

発行号	発行月・部数	内 容
第79号	6月 (20,000部)	錦地域特集号 ほぼ90°に曲がる田柄川がつくった錦のたのしみ方
第80号	10月 (40,000部)	みどり特集号 練馬の街路樹をめぐる旅
第81号	2月 (20,000部)	富士見台地域特集号 夕日の似合うまち 富士見台を感じる散歩道

4) ホームページ等による情報発信

センターの事業、センター登録団体の活動情報等のまちづくりに関する情報を、ホームページで発信した。

② まちづくり相談

1) 窓口相談

個人 延べ 283 名 団体 延べ 98 団体

2) まちづくり登録団体支援

登録団体に対し、印刷機の利用やプロジェクター等の貸出しの支援を行った。

登録団体数：183 団体

利用団体数：延べ 140 団体

3) まちづくり交流事業

登録団体に、イベント情報やまちづくり活動のスケジュール等を郵送（4月～12月 偶数月 1回）し、団体間の交流を促進した。また、メールアドレス登録者に対し、メールマガジンによりまちづくり情報を発信（4月～12月、各月 1回）した。

4) 「情報コーナー」運営

まちづくり活動の参考となる図書や冊子、パンフレット等をセンター「情報コーナー」に配架し閲覧できるようにした。

5) 建築無料相談の後援

一般社団法人東京都建築士事務所協会練馬支部が実施する建築無料相談事業（毎月第4月曜）を後援した。

年間相談件数：57 件

③ まちづくり条例に基づく大規模建築物等に係る専門家派遣

大規模建築物等の計画に関する周辺住民と事業者の話し合いに際して、申し出を受けて専門家を派遣している。令和5年度は申し出がなかった。

④ まちづくり条例に基づく地区まちづくり協議会等の支援

1) 高野台5丁目中央地区住みよいまちづくりの会（総合型まちづくり協議会）

項目	内 容
窓口対応業務	まちづくり憲章窓口説明：12 回
団体支援	団体発行ニュースの作成支援：6 回

2) 武蔵関・環境を守る会（総合型まちづくり協議会）

項目	内 容
窓口対応業務	建築協定に関する窓口説明：17 回 建築協定の申請窓口の代行：1 回

⑤ 地区まちづくり活動支援

1) 江古田駅周辺地区

江古田駅南口広場に整備された花壇について、旭丘一丁目町会および西武鉄道練馬駅管区との協働による維持管理活動を支援するとともに、日本大学芸術学部と連携して、10月の「江古田のまちの芸術祭」の開催や大学等の卒業・入学シーズンに合わせ、花壇に学生が制作した横断幕を設置し、江古田のまちをPRした。

また、江古田駅地下横断歩道の「江古田ウィンドー」に、小中一貫校への移行に伴い土俵終いをした、旭丘中学校相撲部の歴史を振り返るパネルを展示した。

2) 北町地区

まちの活性化と自転車適正利用を目的とする「北町まちづくり協議会」の活動を、自転車事業課と連携して支援した。10月の地区祭に出展し、まちづくりのニーズを調査したほか、イベント等で自転車駐車場のPRを行った。

3) 大泉学園町地区

大泉学園町周辺の地域住民有志による、まちづくり活動団体の立ち上げおよび活動の支援を行った。

オープンガーデンイベント「ちゃい旅」企画運営支援

開催日：5月12日（金）～14日（日）・10月27日（金）～29日（日）

4) 農の風景育成地区（高松・南大泉）

高松地区に関わるまちづくり活動団体等による「高松まちづくり会議」の事務局を担い、農の風景を活かしたまちづくりを支援した。

南大泉地区においては、11月の「農フェスタ」の企画を検討するとともに、自転車事業課と連携して公社が管理している自転車駐車場の一部を無料開放した。

【高松地区】 筒描き染めによるノボリづくり

開催日：令和6年3月9日（土）

参加者：52名

【南大泉地区】南大泉 with 農フェスタ 2023

開催日：令和5年11月25日（土）・26日（日）

参加者：約12,000名

⑥ 空き家等地域貢献活用

空き家所有者や活用希望者からの相談対応、マッチング等を行い、2件の契約が成立した。また、空き家セミナー・個別相談会の開催やポスター掲示により、事業の啓発を行った。空き家活用に向けた所有者の登録は増加している。

事業の充実を図るため、大田区、日野市、世田谷区の外郭団体と情報交換し、他自治体におけるの空き家対策の現状を調査した。

登録：空き家所有者 5件 空き家活用希望者20件

相談：空き家所有者39件 空き家活用希望者87件

<契約成立案件>

契約日・場所	団体名	活用内容
石神井台地区 合意成立：令和5年 1月24日 契約成立：12月26日	NPO法人 ハッピーひろば	障害福祉サービス事業、地域生活支援事業、相談情報ひろば事業等
中村南地区 合意成立：11月29日 契約成立：2月15日	おやこのひろばniico	常設の地域子育て支援拠点

<空き家セミナー・個別相談会>

開催日・場所	内 容	参加者
8月26日(土) 練馬区役所アトリウム地下多目的会議室	「空き家地域貢献事業」の説明 専門家による空き家活用セミナー、個別相談会	セミナー27名 個別相談会12名

⑦ 防災まちづくりの推進

防災まちづくり推進地区に指定されている富士見台駅南側地区、下石神井地区、田柄地区住民に対し、ニュースの発行や啓発イベントを開催した。また、5月から7月にかけて、区職員とともにブロック塀等撤去費助成の個別勧奨を行った。

区の方針により、当事業は令和5年度をもって、公社の事業としては終了することとなった。

<ニュース>

項 目	内 容
ニュースの編集、印刷、配布	防災まちづくりニュースの発行 3地区合計 約19,000部

<啓発イベント>

「防災まちづくりキャラバン 2023ー防まちキャラバンに参加して防災について楽しく学ぼう！ー」を3地区各2回開催した。

	開催日・場所	参加者	内 容
第1回	5月27日(土) 下石神井地区	116名	<防災クイズ> 地域防災について学べるパネルを見ながらクイズに挑戦 回答者には、防まち缶バッジを進呈 <その他> 延焼シミュレーション体験、助成金等の相談コーナーを設置 消防署の協力による初期消火訓練、区民防災課の協力による防災グッズ紹介等
	6月4日(日) 富士見台駅南側地区	127名	
	6月17日(土) 田柄地区	223名	
	計	466名	
第2回	10月28日(土) 富士見台駅南側地区	183名	
	12月3日(日) 下石神井地区	111名	

	12月16日(土) 田柄地区	143名	
	計	437名	
	合計	903名	

⑧ 調査研究

1) 市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議

住民参加・協働型のまちづくりを進めていくための調査研究活動として、首都圏・名古屋市等の自治体・まちづくり団体で構成されている「市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議」に参加した。令和5年度は世田谷区で開催され、情報交換や世田谷区のまちづくり事例を視察した。

2) 大学連携等による調査研究制度の仕組みづくり

大学研究室等との連携を通じてセンターの中間支援組織としての機能を強化し、区のまちづくりにつなげることを目的に、調査研究制度の仕組みづくりに取り組んだ。大学研究室等に対し、研究テーマの設定、助成金の考え方、進め方などのヒアリングを実施した。また、調査研究制度の試行として、練馬区を研究対象とする大学等の活動を支援し、3月に「景観・まちづくり研究発表会」を開催した。

開催日：令和6年3月27日(水)

開催場所：練馬区職員研修所

参加者：28名(うち大学教員3名)

芝浦工業大学7名、東洋大学・大学院6名、東京都市大学1名、練馬区3名、環境まちづくり公社11名

(3) その他事業

① 建築物のバリアフリー化協働推進

ユニバーサルデザインに関する普及啓発や区立施設等の新設、改修に伴う区民意見の聴取を行った。

項目	内 容
普及啓発	<p><店舗等のバリアフリー化普及展示> 4/1~6/15、6/27~11/27 平和台駅地下通路の展示スペース</p> <p><区職員向け研修> 7/3 体験と実践で身につく視覚障害者に配慮した環境整備の工夫 開催場所：練馬区職員研修所 参加者：16名</p>

	<p><一般向け講座（ユニバーサルデザイン講座）> 9/16 だれもが出かけたくなるまちをつくるために… 建築でできること みんなでできること 開催場所：練馬区役所アトリウム地下多目的会議室 参加者：15名</p> <p><事業者向けUD研修> 10/25 体験で学ぶ基礎編 開催場所：練馬区立区民・産業プラザ 研修室1 参加者：11名</p> <p>11/1 実践ワークで学ぶ発展編 開催場所：フェアリーテイルズ（練馬区栄町） 参加者：12名</p>
区民意見聴取	<p>区立施設の改修、新設における区民モニターからの意見聴取</p> <p>7/13.19 富士見台地区区民館 1/11.24 たけした公園 1/12 練馬東小学校・豊溪小学校（光が丘区民センターで実施） 3/8 美術館・図書館（光が丘区民センターで実施）</p>

② みどりのまちづくりセンター運営協議会

センター事業の実施等について助言を行う機関である「みどりのまちづくりセンター運営協議会」をオンラインで開催した。

開催日・場所	内 容	出席委員
7月21日（金） 公社会議室他	令和4年度事業報告 令和5年度事業計画 令和4年度中期経営計画の評価結果 大学連携の進め方	8名
1月17日（水） 公社会議室他	令和5年度事業中間報告 大学連携の進め方（中間報告）	9名

2 自転車等の適正利用に関する事業〔定款第4条第1項第4号〕

(1) 自転車駐車場・タウンサイクルの管理運営

① 区立有料自転車駐車場およびねりまタウンサイクル

指定管理者として、区立有料自転車駐車場、ねりまタウンサイクルの管理運営を行った。その中で、新たな利用者ニーズの把握のためにWebを活用した利用者アンケートを実施した(12月)。

また、窓口でのキャッシュレス決済手段の拡充のため、2月に新しい機器を導入した。これにより今まで現金中心であった支払いに加え、各種クレジットカード、交通系IC、スマホコード決済での支払いが可能となった。

＜施設数・収容台数＞

区分	令和6年3月31日現在	令和5年3月31日現在	前年比増減
有料自転車駐車場	73施設 38,069台	74施設 38,429台	△1施設 △360台
(うち原動機付自転車)	(29施設 695台)	(26施設 655台)	(3施設 40台)
タウンサイクル	7施設 2,700台	7施設 2,700台	増減なし
合計	80施設 40,769台	81施設 41,129台	△1施設 △360台

＜新規開設・閉鎖・台数変更等施設(6施設)＞

	施設名	収容台数	前年比増減
新規開設	大泉学園駅北第5	210台	210台
閉鎖	氷川台駅第1	642台	△642台
	氷川台駅第6	180台	△180台
施設拡張	氷川台駅第4	1,337台	210台
	氷川台駅第8	200台	50台
施設改修	江古田駅第2	170台	△8台
合計			△360台

＜施設利用率＞

区分	令和5年度	令和4年度	前年比増減
有料自転車駐車場	95%	91%	4ポイント
タウンサイクル	72%	76%	△4ポイント

＜収容台数・利用人数＞

区分	収容台数 (A)	定期利用登録人数(人/月) (B)			一時利用人数(人/日) (C)
		一般	学生	減免・免除	
有料自転車駐車場	38,069台	18,298人	5,521人	2,057人	10,247.4人
タウンサイクル	2,700台	1,483人	341人	128人	

※施設利用率 (B) + (C) / (A)

② 公私立自転車駐車場

令和5年10月に石神井公園駅こぶし第2自転車駐車場を開設した。場内に掲示してあるQRコードをスマホで読み取って精算する形の公営駐車場初のQRコード決済専用施設となった。また、区立氷川台駅第1・第6の閉鎖にあわせて、12月から氷川台駅さくらを時間利用から定期利用施設へ変更した。

<施設一覧>

	名称（開設年月日）	施設概要
1	練馬駅つつじ (R1. 11. 1)	時間利用 収容台数：162台 8時間毎 100円（最初の2時間は無料）
2	豊島園駅前 (H23. 11. 1)	時間利用 収容台数：63台 12時間毎 100円（最初の2時間無料）
3	石神井公園駅東 (H26. 3. 1)	時間利用 収容台数：303台（うち5台は原付） 12時間毎 100円（最初の2時間は無料） （原付 12時間毎 200円 [最初の2時間は無料]） 定期利用 収容台数：685台
4	石神井公園駅東拡張 (R1. 6. 28)	時間利用 収容台数：40台 8時間毎 100円（最初の2時間は無料）
5	石神井公園駅西 (H26. 3. 1)	時間利用 収容台数：308台 12時間毎 100円（最初の2時間は無料） 定期利用 収容台数：564台
6	石神井公園ボート池東 (R3. 4. 1)	定期利用 収容台数：106台
7	石神井公園駅こぶし (R5. 3. 1)	時間利用 収容台数：74台 8時間毎 100円（最初の2時間は無料）
8	石神井公園駅こぶし第2 (R5. 10. 27)	時間利用 収容台数：19台 8時間毎 100円（最初の2時間は無料）
9	大泉学園駅さつき (R3. 7. 16)	時間利用 収容台数：62台 8時間毎 100円（最初の2時間は無料）
10	氷川台駅さくら (H30. 5. 1)	定期利用 収容台数：135台
合 計 10施設		2,521台（うち原付 5台）

<施設利用率>

区 分	令和5年度	令和4年度	前年比増減
公私立有料自転車駐車場	121%	113%	8ポイント

<収容台数・利用人数>

区 分	収容台数 (A)	定期利用登録人数 (人/月) (B)			一時利用人数 (人/日) (C)
		一般	学生	減免	
公社立有料 自転車駐車場	2,521 台	1,117 人	318 人	121 人	1,495.7 人

※施設利用率 ((B) + (C)) / (A)

(2) 放置自転車対策事業

練馬区からの受託事業として放置自転車対策事業を行った。

また、撤去業務と合わせて、各駅別の自転車等の乗り入れ台数について実態調査を5月、11月に行った。

① 放置自転車等の撤去実績

区 分	令和5年度	令和4年度	前年比増減
自 転 車	4,501 台	4,764 台	△263 台
原動機付自転車	28 台	54 台	△26 台
合 計	4,529 台	4,818 台	△289 台

<放置率>

区 分	令和5年度	令和4年度	前年比増減
平日 (午前)	1.0%	1.3%	△0.3ポイント
平日 (午後)	1.6%	2.4%	△0.8ポイント

※放置率 放置自転車等台数 / 乗り入れ自転車等台数

※5月の乗入れ台数調査データより

② 自転車集積所の管理運営 (撤去自転車の保管・返還)

返還日時 毎日 (年末年始を除く)、午前9時30分から午後5時30分まで

撤去手数料 自転車4,000円、50cc以下の原動機付自転車7,000円

保管期間 撤去日翌日から1か月間

<自転車集積所一覧>

施 設 名	所 在 地	開設年月日	収容可能台数
中村自転車集積所	中村一丁目9番14号	平成元年10月1日	2,100 台
平和台自転車集積所	早宮二丁目18番35号	平成9年5月1日	1,000 台
石神井台自転車集積所	石神井台三丁目17番16号	平成5年8月1日	1,000 台
富士見台自転車集積所	富士見台三丁目30番20号	平成17年10月1日	3,600 台
合 計		4施設	7,700 台

<返還実績>

区 分	令和5年度	令和4年度	前年比増減
保管自転車等台数 (A)	4, 471台	4, 711台	△240台
返還自転車等台数 (B)	2, 548台	2, 553台	△5台
返 還 率	57.0%	54.2%	2.8ポイント

※返還率 (B) / (A)

※保管自転車等台数は、撤去台数から廃棄台数(使用できない自転車等)を減じた台数

③ 自転車駐車場への誘導・案内

放置自転車の抑制と自転車駐車場への誘導を目的に誘導員を配置した。令和4年度から引き続き15駅に配置した。2～3時間で放置禁止区域内の重点エリア(放置自転車が多い場所)を巡回し、誘導案内業務を実施した。

平日 14駅(江古田・練馬・中村橋・富士見台・練馬高野台・石神井公園・大泉学園・上石神井・武蔵関・東武練馬・氷川台・平和台・地下鉄赤塚・光が丘)

土日 14駅(平日配置駅から東武練馬を除き豊島園を加える)

<誘導員の配置実績>

	令和5年度	令和4年度	前年比増減
延べ配置箇所	12, 981箇所	12, 949箇所	32箇所
延べ時間数	36, 093時間	36, 057時間	36時間

④ 放置自転車等の問い合わせ対応

自転車問い合わせセンターの運営

受付日時 毎日(年末年始を除く)、午前8時30分から午後5時30分まで

(ただし、土日祝は午前9時30分から午後5時30分まで)

<内容および件数>

区 分	令和5年度	令和4年度	前年比増減
即時撤去	2, 295件	2, 298件	△3件
赤札撤去	1, 107件	989件	118件
駐輪場案内	3, 362件	3, 286件	76件
その他	48件	42件	6件
合 計	6, 812件	6, 615件	197件

※即時撤去は、放置禁止区域内の放置自転車撤去に対する問い合わせ

※赤札撤去は、放置禁止区域外の放置自転車撤去に対する問い合わせ

(3) 公社自主事業

① 無料自転車駐車場の管理運営

練馬区との協定に基づき、公社の自主事業として無料自転車駐車場の管理運営を行

った。

<施設数および収容台数>

区 分	令和6年3月31日現在	令和5年3月31日現在	前年比増減
無料自転車駐車場	5施設 1,019台	5施設 1,019台	増減なし
(うち原動機付自転車)	(1施設 14台)	(1施設 14台)	増減なし

② 自転車対策地域協議会

鉄道駅周辺の放置自転車問題を地域のまちづくりの課題として捉え、地域が自ら解決に取り組むため、駅周辺の商店会や町会等に働きかけ、自転車対策地域協議会として活動を行っている。

■ 自転車対策地域協議会

地域	活動等	
江古田	7月 10月 10～11月 3月 月2～3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総会 ・ 南口花壇内に「放置自転車やめよう」横断幕を設置 ・ 地域イベント（江古田のまちの芸術祭）にて江古田駅自転車駐車場を展示スペースとして貸出 ・ 新春交歓会 ・ 南口広場の美化活動
練馬	4月 月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発バナーの再掲出 ・ 駅周辺の清掃活動
中村橋	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域イベント（中村橋阿波踊り）にて中村橋駅東・西自転車駐車場の無料開放
石神井公園	5月 適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常総会 ・ 駅周辺の清掃活動
北町 (東武練馬)	4月 12～2月 2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北町二丁目自転車駐車場の管理委託 ・ 北町二丁目自転車駐車場にてイルミネーションを実施 ・ 地域イベント（節分祭）にて、自転車駐車場利用促進のためのノベルティグッズ配布

■ 連携団体他

地域	活動等	
練馬	隔月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 練馬警察署と合同による自転車盗難防止の啓発
富士見台	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルサイネージの更新（富士見台本町通り商店会・富士見台商栄会）
南大泉 (保谷)	4月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「はじめての自転車ブック【南大泉編】」を配付 ・ 地域イベント（南大泉農フェスタ）にて南大泉自転車駐車場の無料開放

(4) その他

① 被災者へのタウンサイクル自転車の無償貸出

東日本大震災の被災者（区内在住者）に対して、タウンサイクル自転車の無償貸出を継続した。

貸出人数：3人

② 自転車駐車場利用者サービス事業

非常災害時に飲料の無料提供が可能な飲料自動販売機を自転車駐車場に設置している。そのうち約半数の機器はデジタルサイネージ機能を搭載し、非常災害時の情報発信だけでなく天気予報、交通情報、地域情報の日常情報の発信を行っている。

その他、利用者から要望のあった宅配ボックス（1台）の設置を継続している。

<設置台数>

区 分	令和6年3月31日現在	令和5年3月31日現在	前年比増減
飲料用自動販売機	14施設 22台	14施設 22台	増減なし
宅配ボックス	1台	1台	増減なし

3 資源循環の推進に関する事業〔定款第4条第1項第5号〕

公社は、循環型社会の形成に寄与することを目的に、区内の家庭から排出される粗大ごみの収集事業等の資源循環推進事業および練馬区資源循環センター（以下「センター」という。）の管理運営を区から受託している。

センターでは、区民が粗大ごみ等を持ち込みできる事業や粗大ごみの再使用事業、区民・事業者等への普及啓発事業など幅広い事業を行っている。

(1) 容器包装プラスチックの回収事業

区内の家庭などから排出される容器包装プラスチックを、日曜日を除く週6日回収し、区が指定する中間処理施設へ搬入した。

昨年度までは、区内4分の3地域を担当していたが、区の委託事業の見直しにより、令和5年度は、区内4分の1地域の担当となり、年度末をもって受託を終了した。

＜容器包装プラスチック回収の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量(t)	94.96	103.01	97.81	97.71	101.11	97.02	591.61
前年同月比	28.2%	30.5%	29.7%	29.2%	29.4%	29.7%	29.5%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量(t)	95.51	93.92	98.58	98.72	89.49	96.62	1,164.43
前年同月比	29.7%	29.8%	29.6%	29.5%	30.9%	28.9%	29.6%

(2) 粗大ごみの収集事業

粗大ごみ受付センターへの申込みにより決定した収集日に粗大ごみを収集し、区が指定する中継処理施設へ搬入した。

＜粗大ごみ収集の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
収集量(t)	504.90	576.23	495.85	488.24	482.79	500.22	3048.22
収集件数	21,491	24,353	21,854	22,228	21,104	21,608	132,638
前年同月比	89.7%	102.4%	94.5%	94.0%	97.1%	97.9%	95.9%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収集量(t)	519.49	494.48	515.80	434.79	427.15	510.44	5,950.36
収集件数	22,843	22,321	24,500	21,118	18,184	20,392	261,996
前年同月比	98.1%	90.8%	102.5%	91.7%	94.7%	91.3%	95.4%

※収集量は持込量を含む

※前年同月比は収集量の比較

(3) センターの受託運営

区の資源循環推進の拠点であるセンターにおいて、以下の事業を行った。

① 粗大ごみの持込み事業

区民が直接持ち込む粗大ごみを受け取り、区が指定する中継処理施設へ搬入した。

<粗大ごみ持込みの月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
持込量(t)	51.93	56.92	53.92	52.67	52.01	52.59	320.04
持込件数	1,942	2,161	2,119	2,135	2,080	2,089	12,526
前年同月比	100.7%	103.0%	96.6%	112.0%	116.6%	105.6%	105.3%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
持込量(t)	55.81	48.96	51.08	44.16	44.62	56.48	621.15
持込件数	2,146	2,136	2,175	1,968	1,800	2,060	24,811
前年同月比	109.9%	105.0%	113.1%	98.6%	96.9%	95.7%	104.1%

※前年同月比は持込量の比較

② 粗大ごみの再使用事業

粗大ごみの中から再使用が可能なものを、簡易な修理や清掃を行い、区内4か所のリサイクルセンター（関町、春日町、豊玉、大泉）に提供した。

<再使用の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
再使用(点)	522	530	525	500	510	520	3,107
前年同月比	74.6%	72.6%	80.8%	69.4%	72.9%	74.3%	74.0%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
再使用(点)	555	505	400	550	490	550	6,157
前年同月比	77.1%	76.5%	83.3%	85.9%	76.6%	78.6%	76.6%

③ 粗大ごみの資源化事業

粗大ごみから有用金属を取り出すため、分解、選別し、区が指定する資源化事業者に引き渡した。

<金属類回収の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
非鉄類(t)	0.97	1.30	1.13	1.06	1.21	0.96	6.63
有害金属(t)	3.93	3.94	3.15	3.57	3.14	2.87	20.60
計	4.90	5.24	4.28	4.63	4.35	3.83	27.23
前年同月比	105.6%	128.7%	99.8%	115.5%	103.1%	102.7%	109.1%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
非鉄類(t)	1.29	1.25	1.38	0.92	0.84	0.89	13.20
有害金属(t)	3.41	3.95	4.48	3.40	3.47	4.14	43.45
計	4.70	5.20	5.86	4.32	4.31	5.03	56.65
前年同月比	100.2%	97.7%	112.0%	88.7%	102.6%	100.2%	104.3%

※回収量は当センター分のみ

④ 衣装ケース（粗大ごみ）を材料リサイクルするための回収実験

東京都からの協力依頼により、粗大ごみに含まれる衣装ケースを材料リサイクルするための回収実験に区と共同で参加した。2月に9日間行われ、1,760 kgの衣装ケースを指定の引取り業者に引き渡した。

⑤ 小型家電製品の回収事業

区内 16 か所に設置している小型家電製品の回収ボックスから回収した、携帯電話・スマートフォンを含む小型家電製品（13 品目）を品目毎に選別し、区が指定する資源化事業者に引き渡した。

<小型家電回収の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (kg)	18.62	12.58	14.88	8.46	22.68	29.64	106.86
前年同月比	87.8%	42.0%	76.7%	144.4%	79.2%	137.1%	84.3%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (kg)	18.68	18.74	13.74	26.94	11.64	28.88	225.48
前年同月比	71.7%	103.9%	88.3%	67.2%	68.5%	226.0%	88.0%

⑥ 古布回収事業

家庭で不用になった古着・古布の回収拠点として、毎週日曜日の9時から正午まで持込みによる回収を行った。

<古布回収の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (kg)	7,050	5,690	4,340	5,810	3,280	3,220	29,390
前年同月比	113.9%	70.5%	105.3%	126.9%	113.1%	88.5%	99.6%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (kg)	5,180	4,340	5,340	2,740	3,310	5,560	26,470
前年同月比	80.9%	98.2%	100.4%	83.8%	85.3%	147.1%	97.8%

⑦ 廃食用油の回収事業

家庭で不用になった使用済み食用油の回収拠点として、毎週日曜日の9時から正午まで持込みによる回収作業を行い、区が指定する回収事業者に引き渡した。

<廃食用油回収の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (kg)	154.39	306.88	87.90	148.28	124.60	150.62	972.67
前年同月比	65.3%	264.1%	87.7%	94.3%	128.8%	161.9%	121.6%
区全体量 (kg)	1,053	1,499	1,332	1,188	1,350	1,113	7,535
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (kg)	133.60	85.14	175.52	82.90	80.26	147.54	1,529.35
前年同月比	131.4%	114.3%	139.1%	105.7%	85.9%	183.2%	112.9%
区全体量 (kg)	1,399	1,149	1,587	1,150	1,161	1,235	15,216

⑧ 資源循環の推進に関する相談および普及・啓発

センターに設置してある「見て学べる展示スペース」や太陽光発電等の環境配慮設備等を活用して、資源循環の推進に係る普及・啓発事業を実施した。

1) 相談コーナーの運営

清掃・リサイクルに関する相談を受けるとともに、資源循環に関する書籍等を収集して情報提供した。

2) 施設見学の受け入れ

センターは、区の循環型社会の形成をめざした施設と位置付けられており、区民、中学生、大学生等の施設見学を受け入れた。

<施設見学の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
団体数	0	0	2	0	2	2	6
団体人数	0	0	11	0	20	9	40
個人	3	0	0	2	1	2	8
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	1	1	0	0	0	1	9
団体人数	4	6	0	0	0	7	57
個人	1	1	1	0	0	1	12

3) 環境学習講座の実施

ごみの減量化や資源化についての意識啓発を図るため、小学生とその保護者を対象に、小型家電リサイクル工場のバス見学会を開催した。

* 実施日：令和5年10月28日 参加者：22名（保護者12名、小学生10名）

4) 環境イベントへの出展

公社の資源循環推進事業を広く知ってもらうため、「夏休み！ねりま環境まなびフェスタ」や「スタート！エコライフ2024」等の環境イベントに出展した。

⑨ 集団回収支援事業

町会・自治会などの団体が、自主的に資源を回収するリサイクル活動に対して、センターは活動を拡大するためのPR、団体と回収事業者間の調整、地域懇談会の開催、集団回収に必要な用具類の提供および回収実績の取りまとめ業務等を行っている。

また、資源回収活動団体に対して回収量に応じた報奨金が半年ごとに区から支給されるため、そのお知らせを8月と2月に発送した。

<登録団体数等の実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
新規登録団体数	2	0	0	0	0	0	2
廃止団体	1	0	0	0	0	0	1
総登録団体数	656	656	656	656	656	656	
回収量(t)	722.4	716.7	821.5	570.0	618.5	598.5	4,047.5
前年同月比	96.2%	95.6%	106.2%	87.4%	91.3%	86.4%	94.2%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規登録団体数	1	1	1	0	0	0	3
廃止団体	1	0	0	0	0	0	1
総登録団体数	657	658	659	659	659	659	
回収量(t)	643.3	591.2	877.5	597.2	569.8	687.4	8,013.9
前年同月比	93.7%	83.6%	102.5%	96.7%	82.0%	106.7%	94.3%

⑩ 資源循環の推進に係る民間事業者等の支援・育成事業

集団回収を実施する予定の団体が希望する場合は回収予定事業者と一緒に、集団回収の説明を行っている。また、回収事業者には、集団回収できる品目（古紙、古布、缶など）を積極的に回収するよう協力要請を行った。

⑪ 生ごみ資源化支援事業

生ごみコンポスト化容器のあっせん受付を行った。

<生ごみコンポスト化容器のあっせん実績>

実績なし

⑫ 大型生活用品情報掲示板事業

区民から申込みのあった「譲ります」「譲ってください」の情報を一覧にした資料を作成し、区内16か所の情報掲示板に掲示した。

<「譲ります」の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
掲載件数	10	11	14	19	4	4	62
成立件数	7	4	11	8	0	1	31
成立率	70.0%	36.4%	78.6%	42.1%	0.0%	25.0%	50.0%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
掲載件数	10	6	7	4	13	4	106
成立件数	8	4	6	1	6	1	57
成立率	80.0%	66.7%	85.7%	25.0%	46.2%	25.0%	53.8%

<「譲ってください」の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
掲載件数	0	3	0	0	1	0	4
成立件数	0	0	0	0	0	0	0
成立率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
掲載件数	0	2	3	0	2	2	13
成立件数	0	1	1	0	0	0	2
成立率	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%

4 可燃ごみ・不燃ごみの収集に関する事業 [定款第4条第1項第6号]

公社は、公衆衛生の向上や環境保全を図るため、可燃ごみ・不燃ごみ収集業務の一部を区から受託した。現在、区内の可燃ごみ排出量の概ね6割を公社が収集している。

(1) 可燃ごみの収集事業

区内の家庭などから排出される可燃ごみを、日曜日を除く週6日収集し、区が指定する清掃工場に搬入した。

<可燃ごみ収集の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
収集量(t)	5,862.92	6,403.58	5,982.03	5,813.77	5,854.23	5,549.57	35,466.10
区全体量(t)	9,219.62	10,115.64	9,401.38	9,192.60	9,249.88	8,749.78	55,928.90
公社収集比率	63.6%	63.3%	63.6%	63.2%	63.3%	63.4%	63.4%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収集量(t)	5,901.88	5,793.05	6,202.79	5,869.10	5,165.84	5,481.22	69,879.98
区全体量(t)	9,294.75	9,165.36	9,835.77	9,446.92	8,221.26	8,728.32	110,621.28
公社収集比率	63.5%	63.2%	63.1%	62.1%	62.8%	62.8%	63.2%

(2) 収集拠点の運営

可燃ごみの収集拠点として、区東部地域は桜台事業所を、区西部地域は石神井事業所(石神井清掃事務所4階)を利用し、その機能維持に努めた。

5 不燃ごみの資源化事業 [定款第4条第1項第6号]

不燃ごみ中継施設の施設管理と事業運営を令和4年度から受託している。中継施設では、区内全域の家庭から排出された不燃ごみから金属類や小型家電などの資源可能物を選別、回収し、蛍光管やスプレー缶は減容処理した後、区が指定する資源化事業者に引き渡した。

<不燃ごみ資源化の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
搬入量	351.72	317.59	325.20	300.11	300.52	310.95	1,906.09
資源[金属類]	60.97	57.16	57.51	55.28	54.73	57.02	342.67
資源[小型家電]	39.56	37.18	35.34	34.89	33.69	34.89	215.55
資源[蛍光管]	2.51	2.50	2.58	2.65	1.97	2.04	14.25
資源物合計	103.04	96.84	95.43	92.82	90.39	93.89	572.41
資源化率	31.6%	32.4%	32.0%	33.4%	33.3%	33.1%	32.4%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
搬入量	327.38	308.15	363.63	293.21	316.08	307.59	3,822.13
資源[金属類]	59.58	58.82	68.26	54.32	57.86	54.50	696.01
資源[小型家電]	36.20	35.68	42.74	34.71	34.53	31.65	431.06
資源[蛍光管]	2.82	2.99	3.24	2.73	3.24	2.55	31.82
資源物合計	98.60	97.41	113.94	91.80	95.63	88.64	1,158.43
資源化率	33.0%	33.8%	33.4%	32.4%	33.4%	32.1%	32.7%

※資源化率は区の事業全体における割合

6 地球温暖化の防止対策に関する事業〔定款第4条第1項第7号〕

公社は、区から練馬区地球温暖化対策地域協議会（愛称は「ねり☆エコ」。以下「協議会」という。）の事務局運営業務を受託し、運営に当たった。

（1）令和5年度の事業

① 環境イベントの開催

1) ねりま環境まなびフェスタ

小・中学生とその保護者を対象に、エネルギーを作る実験やリサイクル体験、生きものとの触れ合い・観察等、環境について楽しく学び、夏休みの宿題や自由研究のヒントとなる参加・体験型のイベントを開催した。会場ではスタンプラリーや自由研究相談コーナー、第12回こどもエコ・コンクール入賞作品展示、マスコットキャラクターとの記念撮影等も行った。

令和5年度はココネリ3階を貸し切り、各ブースのサイズ拡大、回遊性の向上を図った。

日時：令和5年7月29日（土）10時～16時

会場：ココネリ3階

出展・協賛団体数：24団体

来場者数：約1,400名

2) 練馬まつり・消費生活展ねりま2023

練馬まつりに加え、消費生活展ねりまに初めて出展した。「クイズに答えて めざそう家電省エネマスター！」と題して、簡易電力量計を使った家電の消費電力測定を実施し、消費電力の差を実感してもらった。その他、ソーラーパネルを使った蓄電池の展示やクイズ、シールアンケート、記念品等の配布を行った。

【練馬まつり】

日時：令和5年10月15日（日）10時～15時

会場：南町小学校

ねり☆エコブース来場者数：約700名

【消費生活展ねりま2023】

日時：令和5年11月11日（土）10時～16時

会場：石神井公園区民交流センター

ねり☆エコブース来場者数：約330名

3) スタート！エコライフ2024

節電・省エネ等、地球温暖化対策を家庭から実践するためのヒントについて、協議会会員団体・協力団体がパネル展示やパンフレットの配布等により紹介した。

日時：令和6年2月22日（木）～3月5日（火）8時45分～20時

会場：練馬区役所本庁舎アトリウム

出展団体数：20 団体
来場者数：約 4,500 名

② 区民向け講演会・講習会

1) 環境月間講演会

6月の環境月間に合わせて講演会を開催した。小学4年生以上とその保護者を対象に、恐竜の生態や繁栄から絶滅までの地球環境の変化などをクイズを交えて学ぶことにより、地球を守る大切さを考え、地球温暖化対策の実践につなげるきっかけとした。

演題：「恐竜から考える私たちの現代と近未来」
日時：令和5年6月4日（日）14時～16時
会場：区役所本庁舎アトリウム 地下多目的会議室
講師：国立科学博物館 副館長 真鍋 真 氏
参加者数：64組 156名

2) 体験型講座

「ねりま環境まなびフェスタ」と同時開催で、体験型講座を実施した。小学5年生以上とその保護者を対象に、二酸化炭素で地球が温暖化する「温室効果」や、水素と酸素から二酸化炭素を出さずに発電する「燃料電池」の実験を通して、地球温暖化の理解を深めた。

演題：「環境にやさしい発電 実験してみよう！燃料電池ってなんだろう？」
日時：7月29日（土）午前の部：10時30分～11時30分
午後の部：13時30分～14時30分
会場：ココネリ3階 研修室2
講師：東京ガスネットワーク㈱ 次世代教育センター インストラクター
参加者数：午前の部：19組 47名
午後の部：20組 52名

③ 青少年向け啓発事業

1) こどもエコ・コンクール（第13回）

小学校3年生から中学校2年生までを対象に、環境をテーマとした絵画作品を募集した。入賞作品はじめ、寄せられた作品の一部を練馬区役所アトリウム等で展示した。昨年度に引き続き、第12回の作品も含め、区立図書館6館、平和台駅地下連絡通路、イベント会場で展示したほか、新たに、環境月間講演会、春日町リサイクルセンター、石神井公園駅西自転車駐車場で展示した。

募集期間：令和5年7月21日（金）～9月8日（金）
応募数：2,370件（小学生658件、中学生1,712件）
アトリウム展示：令和6年1月9日（火）～16日（火）
展示会場：図書館（光が丘、大泉、南大泉分室、貫井、南田中、春日町）、平和台駅地下連絡通路、環境月間講演会、ねりま環境まなびフェスタ、

スタート！エコライフ 2024、春日町リサイクルセンター、石神井公園
駅西自転車駐車場

2) ねりねこ☆多ねりこん vv が行く（着ぐるみ派遣）

マスコットキャラクター「ねりねこ☆多」「ねりこん vv」を各種イベント等に派遣し、地球温暖化対策のPR活動を行った。

ア 環境月間講演会：令和5年6月4日（日）

イ 春日町リサイクルセンター：令和5年6月11日（日）

ウ ねりま環境まなびフェスタ：令和5年7月29日（土）

エ 練馬まつり：令和5年10月15日（日）

オ 消費生活展ねりま 2023：令和5年11月11日（土）

④ 地球温暖化対策の調査・区民支援事業

1) ねり☆エコホームページ

子育て・働き盛り世代への啓発を強化するため、ねり☆エコホームページ内特設ページのコンテンツを増設した。また、ホームページを周知するためのチラシを区内小中学校の全児童・生徒や公共施設に配布した。

ア ねり☆エコ e-ラーニング

「小学5年生から」の2コース「地球温暖化対策編」「ねりまのエコ編」について、設問の再編・更新を行った。

イ ねりまのエコ暮らし帳

居住空間に合わせた省エネのコツや、地域のエコな取組の紹介等、子育て・働き盛り世代が自らアクションを起こすきっかけとなるようなコンテンツを増設した。

【居住空間に合わせた省エネのコツ】

- ・キッチン編：「冷蔵庫は思い切って買替えも◎」
- ・リビング編：「テレビは適切な明るさに設定を！」、「掃除機はフローリングや畳は『弱』でも十分な吸引力」
- ・お風呂・洗面所編：「洗濯物はまとめ洗いや自然乾燥がエコでおトクです！」
- ・建物編：「快適・健康・安心な省エネ住宅『ZEH』とは？」
- ・ミニコーナー：「家電製品の消費電力量を見える化する『簡易電力量計』」、「既存住宅の省エネ化・再エネ導入には！『練馬区カーボンニュートラル化設備設置等補助制度』」

【地域のエコな取組みレポート「エコまちねりま」】

- ・生ごみを堆肥化して区内での循環を推進！：ねりま・ごみフォーラム
- ・「服のチカラを、社会のチカラに」あらゆる人の生活をより良くする「LifeWear」：ユニクロ 練馬北口店

ウ ねり☆エコ動画

3分でわかる！省エネ対策動画「冷蔵庫の省エネ対策」「照明器具の省エネ対策」の2本の動画を制作した。

エ エコ語り

「ねり☆エコ会長 横倉 尚 氏」取材し、カーボンニュートラル実現に向けた世界や国の動向、ねり☆エコの今後の展望などを紹介した。

2) 事業者向け支援

事業者の地球温暖化対策への取り組みを促進するため、国、都、区などの各種事業者支援策に関する情報サイトの主なものを紹介するチラシを作成した。区内事業者団体の広報媒体への折り込みや、メールマガジンによる配信で周知した。

【配布・掲載先】

- ・練馬東法人会 2,400 部
- ・東京商工会議所練馬支部が運営するメールマガジンで発信
- ・ねり☆エコホームページ「エコビジネスのすすめ」

⑤ 広報業務

1) ねり☆エコホームページの運営

地球温暖化対策や協議会の活動等について、ホームページを随時更新した。

閲覧数：107,241 件（前年度 114,174 件）

更新回数：62 回

2) メールマガジン等による事業周知

地球温暖化に関するニュースや協議会の事業についてメールマガジンで配信した。合わせてX（旧 Twitter）でも周知した。

ア メールマガジン登録数：306 件（前年度 286 件）

イ メールマガジン配信回数：4 回

ウ X（旧 Twitter）配信回数：10 回

⑥ 運営業務

1) 協議会の各種会議運営業務

総会 1 回、役員会 3 回、事業部会 4 回、担当委員会 2 回

2) 協議会の窓口業務

協議会や会員が行う事業の出展者・出演者との連絡・折衝等、協議会に関する報道機関対応、相談・問い合わせ対応等

事業報告の附属明細書

公益財団法人練馬区環境まちづくり公社定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に包含して掲載しているため、作成しない。

I 評議員会および理事会の開催状況

定款第 17 条および第 30 条の規定に基づき、令和 4 年度に開催した評議員会および理事会はつぎのとおりである。各案件について決議した。

1 評議員会の開催状況

回数	開催年月日等	案	件
第 1 回 文書に よる同意	令和 5 年 4 月 1 日 (土)	議案第 1 号 議案第 2 号	評議員の選任について 理事の選任について
第 2 回	令和 5 年 6 月 16 日 (金) 出席評議員 6 名 出席監事 2 名	議案第 3 号 議案第 4 号 議案第 5 号 報告第 1 号 報告第 2 号	公益財団法人練馬区環境まちづくり 公社令和 4 年度事業報告および事業 報告の附属明細書について 公益財団法人練馬区環境まちづくり 公社令和 4 年度決算について 理事の選任について 中期経営計画 令和 4 年度取組達成状 況の自己評価について 規程等の一部改正について
第 3 回 文書に よる同意	令和 5 年 7 月 1 日 (土)	議案第 6 号	理事の選任について
第 4 回	令和 6 年 3 月 11 日 (月) 出席評議員 5 名	議案第 7 号 議案第 8 号 報告第 3 号 報告第 4 号 報告第 5 号	公益財団法人練馬区環境まちづくり 公社役員および評議員の報酬等なら びに費用弁償に関する規程の一部改 正について 公益財団法人練馬区環境まちづくり 公社常勤理事の令和 6 年度報酬月額 および支給賞与額について 令和 6 年度公益財団法人練馬区環境 まちづくり公社事業運営方針針 令和 6 年度公益財団法人練馬区環境 まちづくり公社事業計画 令和 6 年度公益財団法人練馬区環境 まちづくり公社予算ならびに資金調 達および設備投資の見込み

		<p>報告第6号 公益財団法人練馬区環境まちづくり 公社中期経営計画（令和6年度～令 和8年度）（案）について</p> <p>報告第7号 令和6年度役員等賠償責任保険契約 の締結およびその内容決定について</p> <p>報告第8号 規則等の一部改正・制定について</p>
--	--	---

2 理事会の開催状況

回数	開催年月日等	案 件
第1回 文書に よる同意	令和5年4月1日（土）	議案第1号 常務理事の選定について
第2回	令和5年5月31日（水） 出席理事 13名 監事 2名	<p>議案第2号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 令和4年度事業報告および事業報告の附 属明細書について</p> <p>議案第3号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 令和4年度決算について</p> <p>報告第1号 中期経営計画 令和4年度取組達成状況の 自己評価について</p> <p>報告第2号 基準等の一部改正について</p> <p>報告第3号 理事長・常務理事の職務の執行状況報告 について</p>
第3回 文書に よる同意	令和5年6月16日（金）	<p>議案第4号 理事長の選定について</p> <p>議案第5号 常務理事の選定について</p>
第4回 文書に よる同意	令和5年7月1日（土）	議案第6号 評議員会の開催について
第5回 文書に よる同意	令和5年7月1日（土）	議案第7号 理事長の選定について
第6回	令和5年11月10日（金） 出席理事 12名 監事 2名	<p>議案第8号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 社員就業規則の一部改正について</p> <p>議案第9号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 社員の育児休業、介護休業等に関する規 程の一部改正について</p>

		<p>議案第 10 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 社員給与規程の一部改正について</p> <p>議案第 11 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 社員の退職手当に関する規程の一部改正 について</p> <p>議案第 12 号 評議員会の開催について</p> <p>報告第 4 号 理事長・常務理事の職務の執行状況報告 について</p> <p>報告第 5 号 令和 5 年度上半期事業執行状況および 令和 5 年度上半期予算執行状況について</p> <p>報告第 6 号 人事・給与制度の見直しについて</p> <p>報告第 7 号 基準の一部改正について</p>
第 7 回	令和 6 年 3 月 11 日 (月) 出席理事 9 名 監事 1 名	<p>議案第 13 号 令和 6 年度公益財団法人練馬区環境まち づくり公社事業運営方針</p> <p>議案第 14 号 令和 6 年度公益財団法人練馬区環境まち づくり公社事業計画</p> <p>議案第 15 号 令和 6 年度公益財団法人練馬区環境まち づくり公社 予算ならびに資金調達および 設備投資の見込み</p> <p>議案第 16 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 個人情報保護に関する規程の制定につ いて</p> <p>議案第 17 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 社員就業規則の一部改正について</p> <p>議案第 18 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 社員給与規程の一部改正について</p> <p>議案第 19 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 事務局組織および処務に関する規程の一 部改正について</p> <p>議案第 20 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 文書管理規程の一部改正について</p> <p>議案第 21 号 評議員会の開催について</p> <p>議案第 22 号 令和 6 年度役員等賠償責任保険契約の締 結およびその内容決定について</p>

		報告第8号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公 社中期経営計画（令和6年度～令和8 年度）（案）について 報告第9号 基準等の一部改正・制定について
--	--	---

Ⅱ 評 議 員 名 簿

令和6年3月31日現在

役 職 名	氏 名
評 議 員 評 議 員 評 議 員 評 議 員 評 議 員 評 議 員	井 口 薫 石 塚 康 夫 秋 山 勉 高 橋 利 充 猪 飼 昭 彦 植 田 敏 裕 小 暮 文 夫

Ⅲ 役員名簿

令和6年3月31日現在

役職名		常・非	氏名
理事	理事長	常勤	小西 将雄
	常務理事	常勤	市村 保
	常務理事	常勤	藤田 光威
	理事	常勤	乾 嘉行
	理事	非常勤	小川 善昭
	理事	非常勤	三宅 泉
	理事	非常勤	横倉 尚
	理事	非常勤	高橋 司郎
	理事	非常勤	市川 哲也
	理事	非常勤	竹内 健
	理事	非常勤	大澤 琢朗
	理事	非常勤	早井 和彦
	理事	非常勤	鈴木 正明
理事	非常勤	金 沢 景一	
監事	監事	非常勤	本橋 清彦
	監事	非常勤	近藤 雅彦